

2026年度 入学試験問題

## 公募制推薦入試

2025年11月15日（第1日）

第1限

### 小論文

#### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 試験中にページの脱落等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 4 問題冊子は試験終了後、持ち帰ること。

## 問題 次の文章と図を読み、あとの問いに答えよ。

電子商取引（Electronic Commerce：以下 EC）とは、インターネットを利用した商品の売買やサービス提供の全般を指す。1990年代半ばからインターネットの普及が始まり、1997年には日本初の EC モールが開設、2000年代後半の iPhone 発売などの影響から、EC は日常生活に浸透し大きなマーケットを獲得している。加えて、2020年頃から始まった新型コロナウイルス感染症による外出自粛によって、さらに EC 市場は拡大した。

EC における配達業務のことを、EC 物流と呼ぶ。EC 物流の特徴は、個人宛の小型の荷物が多く配送先が多岐に渡ることが挙げられる。また、EC サイトごとに配送時間、料金などが異なり、配達業務では複雑な個別対応が求められる。

図 1 より宅配便の取扱個数が年々増加している一方で、配達を担う運転従事者数は年々減少していることが読み取れる。このような状況から、運転従事者の負担増加による長時間労働がしばしば問題になっていたが、労働環境の改善のために法改正が行われることになった。具体的には、運転従事者にも「年間時間外労働時間に上限を設ける」というもので、2024年4月に施行された。しかし、元々労働力不足だったところに、労働時間の制限が課されることから、物流において輸送能力や輸送スピードを維持できなくなる可能性が高い。従って、「物流の2024年問題」として業務の効率化、利用者の理解など対策が検討されている。解決が求められている問題の1つに宅配便の再配達が挙げられる。

図 2 は、「再配達となった理由」について、2018年と2023年の比較を行った結果である。図 3 は、「今後も希望する宅配便の受け取り方」の男女比較を行った結果である。図 4 に「宅配ボックスを設置しない理由」を示した。また、図 5 は「置き配を利用しない理由」、図 6 は「置き配利用時に経験したトラブル」を示したものである。

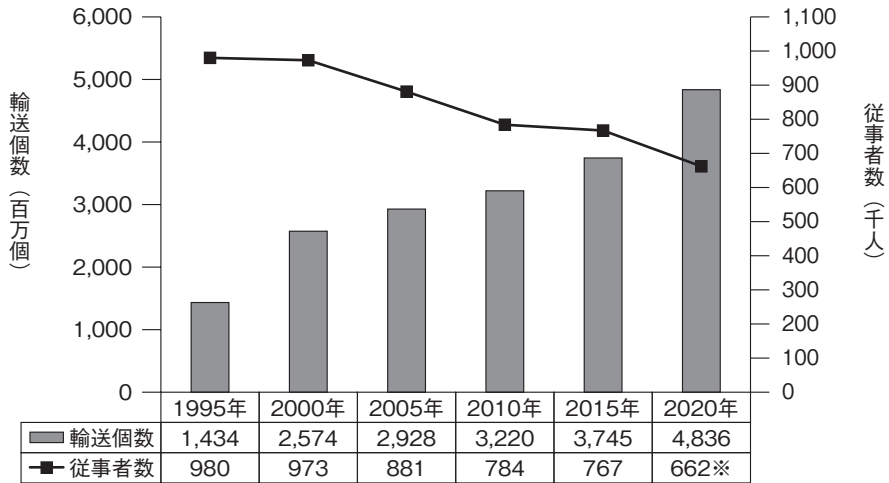


図1 宅配便輸送個数及び道路貨物運送業の運転従事者数の推移（※は予測値）

（出典：国土交通省『令和4年度宅配便等取扱個数の調査及び集計方法』及び公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会『ロジスティクスコンセプト2030～デジタルコネクで目指す次の産業と社会～（2020）』を一部改変）

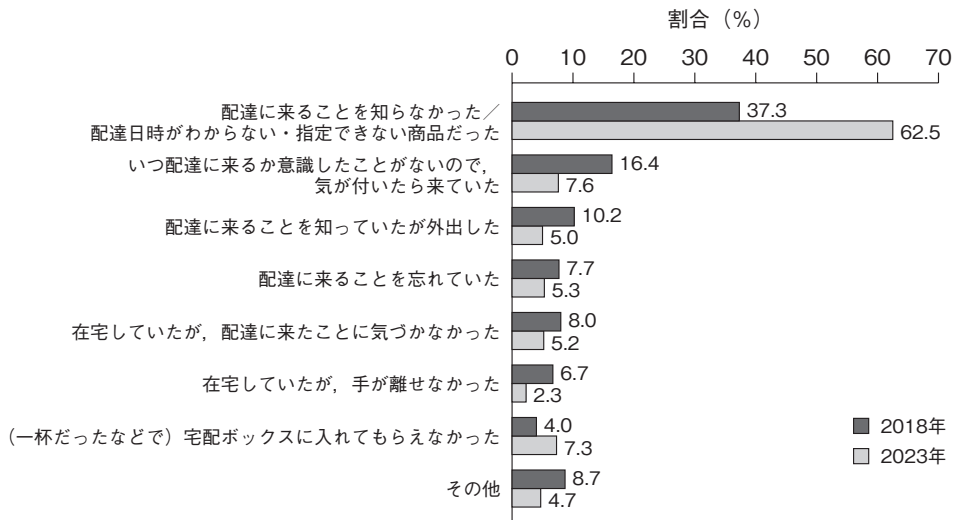


図2 再配達となった理由（複数回答）

（出典：SOMPO インスティテュート・プラス『物流の2024年問題と再配達削減への挑戦（2023）』を一部改変）

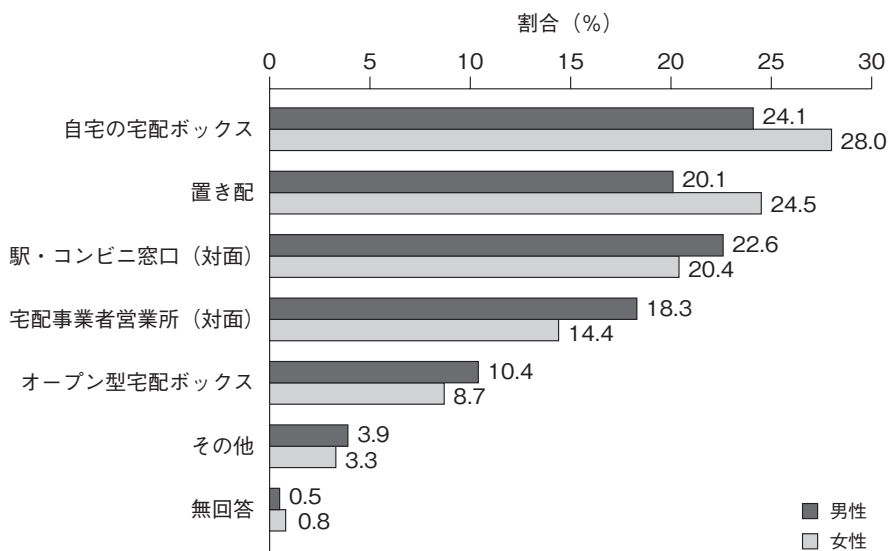
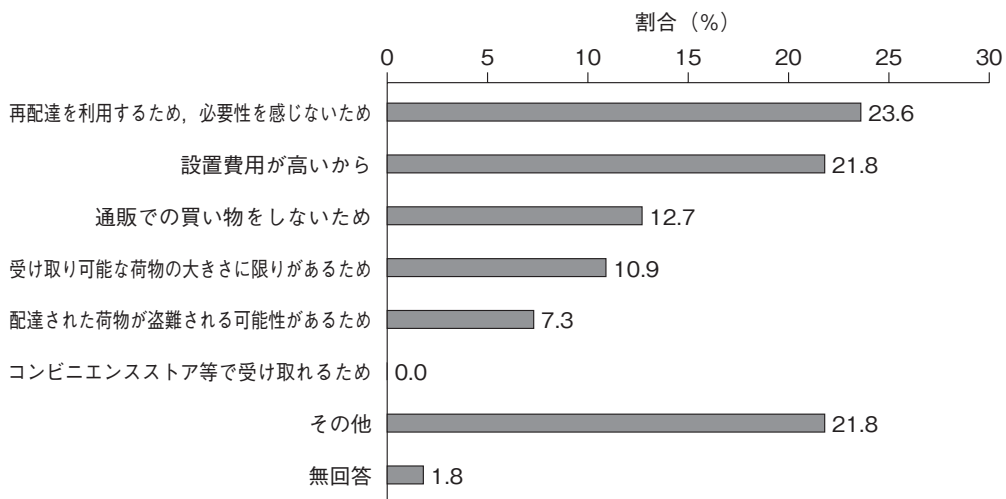


図3 今後も希望する宅配便の受け取り方（複数回答）

（出典：国土交通省『物流に対する消費者意識に関するアンケート（2022）』を一部改変）



※四捨五入の関係上、表示された値を合計しても100%にならない。

図4 宅配ボックスを設置しない理由

（出典：足立区『令和3年度第2回区政モニターアンケート調査報告書《宅配ボックス及びオープン型宅配ロッカーについて》』を一部改変）

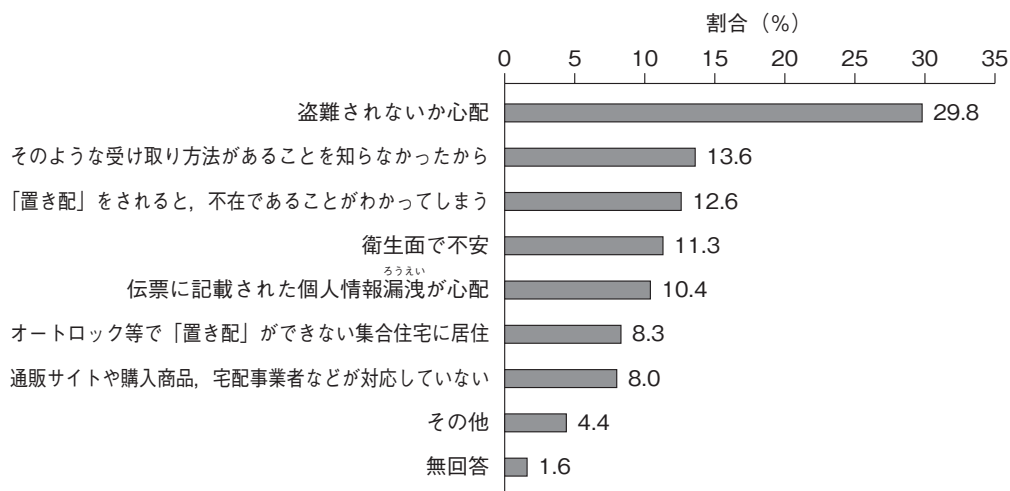


図5 置き配を利用しない理由（複数回答）

（出典：国土交通省『物流に対する消費者意識に関するアンケート（2022）』を一部改変）

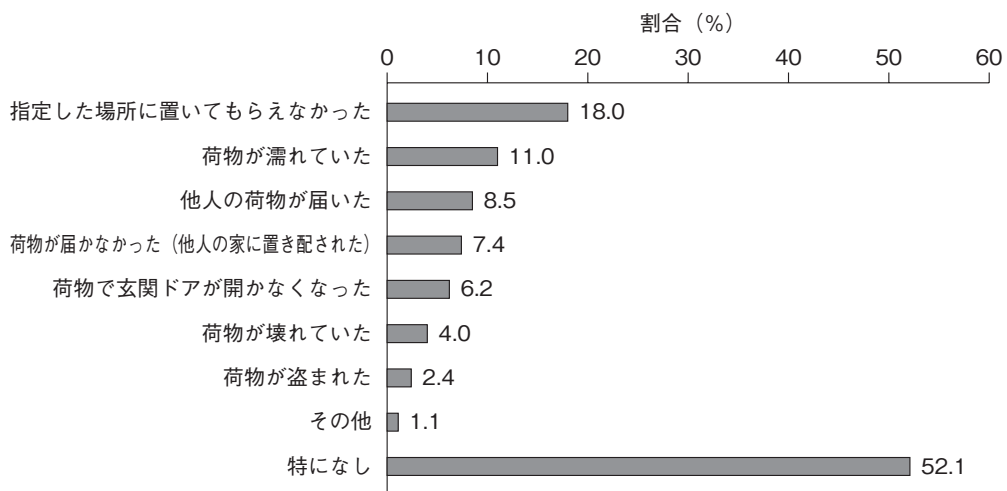


図6 置き配利用時に経験したトラブル（複数回答）

（出典：株式会社ナスタ『2022年「置き配」利用率が6割を突破、19年比で2.3倍に増加～宅配ボックス設置率39.2%。戸建て住宅・アパートへの普及が課題～』を一部改変）

問1 図1と図2について述べた以下の文章について、( ) 内にあてはまる数値を答えよ。①は小数第三位を四捨五入し、小数第二位までの数で、②は小数第一位までの数で答えよ。

・2020年に予測された道路貨物運送業の運転従事者数は、1995年の運転従事者数の( ① ) 倍になっている。

・「配達に来ることを知らなかった／配達日時がわからない・指定できない商品だった」という回答は2018年よりも2023年の方が( ② ) ポイント多い。(ポイントとは割合の差を表す)

問2 図5と図6をもとに、置き配を利用しない理由と、置き配利用時に経験したトラブル、それぞれの特徴を200字以内で述べよ。

問3 EC市場の拡大などの影響で宅配便の取扱個数は増加しているが、配達する人員は減少の一途をたどっている。このような中で再配達が発生すると、物流が停滞し、配達員の負担になるため、できるだけ減らす必要がある。全ての図を参考に、再配達を減らすためには、どのような対策が有効と考えるか、400字以内で述べよ。行政機関、民間企業、各家庭など、どのような立場での対策でも構わない。

2026年度 入学試験問題

## 公募制推薦入試

2025年11月16日（第2日）

第1限

### 小論文

#### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 試験中にページの脱落等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 解答用紙には、受験番号および氏名を正しく記入すること。
- 4 問題冊子は試験終了後、持ち帰ること。

## 問題 次の文章と図を読み、あとの問いに答えよ。

我が国では2019年4月より「学校教育法等の一部を改正する法律」等関係法令が施行され、教科書の内容を電磁的に記録した学習者用デジタル教科書（以下、デジタル教科書）が制度化された。これにより学校現場では、従来の紙の教科書を主たる教材として使用しながら、必要に応じてデジタル教科書を併用できるようになった。2021年には義務教育段階における一人一台端末の配備が完了し、2024年からはデジタル教科書の段階的導入が開始され、まずは「英語」から、続けて「算数・数学」と、デジタル教科書の利用を拡大する方針で検討が進められている。

実際、読売新聞が2024年に全国の小学校・中学校の校長188名を対象に実施したアンケートの結果（回答者162名）によれば、デジタル教科書の今後のあり方について、紙の教科書のみ使用すべきという回答は0.6%とごく少数であった。しかし、紙の教科書を廃止しデジタル教科書のみを使用すべきという回答も4.3%にとどまり、95.1%が、デジタル教科書と紙の教科書を併用することを望んでいたという（読売新聞オンライン 2025年1月16日付）。このように、文部科学省がデジタル教科書の使用拡大を目指す一方で、学校現場では紙の教科書を支持する声も根強い現状が垣間見える。これらの状況を踏まえると、今一度、デジタル教科書の長所と短所を見極め、デジタル教科書の今後の運用方針を合理的に検討する必要があるだろう。

図1～5は、国からデジタル教科書が配布された小学校、中学校または特別支援学校に属する児童生徒および教師を対象に実施された、デジタル教科書の効果・影響の把握のための大規模アンケート調査（2024年度）の結果の一部である。図1は、2022年度から2024年度までの、小学校および中学校の教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化を示している。図2は、2024年度の小学3～6年生（中高学年）および中学生の、デジタル教科書における各機能の使用頻度を示している（なお図2では、「デジタル教科書を使わない」児童生徒を除いている）。図3は個別学習について、図4は一斉学習と協働学習について、小学校および中学校の教師を対象とし、デジタル教科書の場面別の使用感を紙の教科書と比較しながら聞き取った結果である。図5は、小学校および中学校の教師を対象として、デジタル教科書を使用する際に感じられる課題を聞き取った結果である。



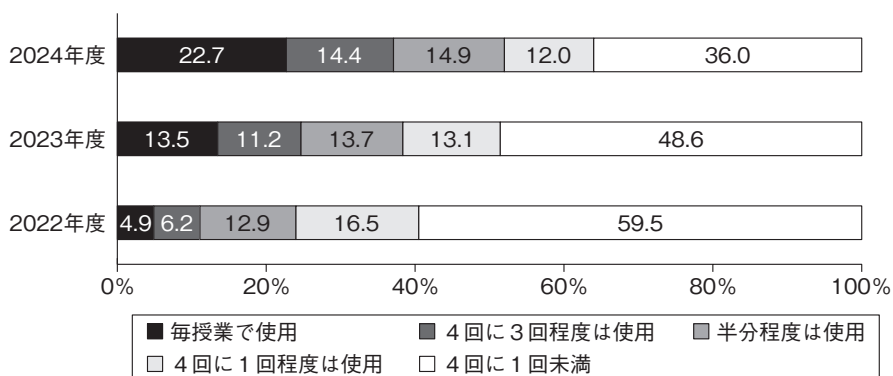


図1 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化

(出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書（デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等）」を一部改変)  
 注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

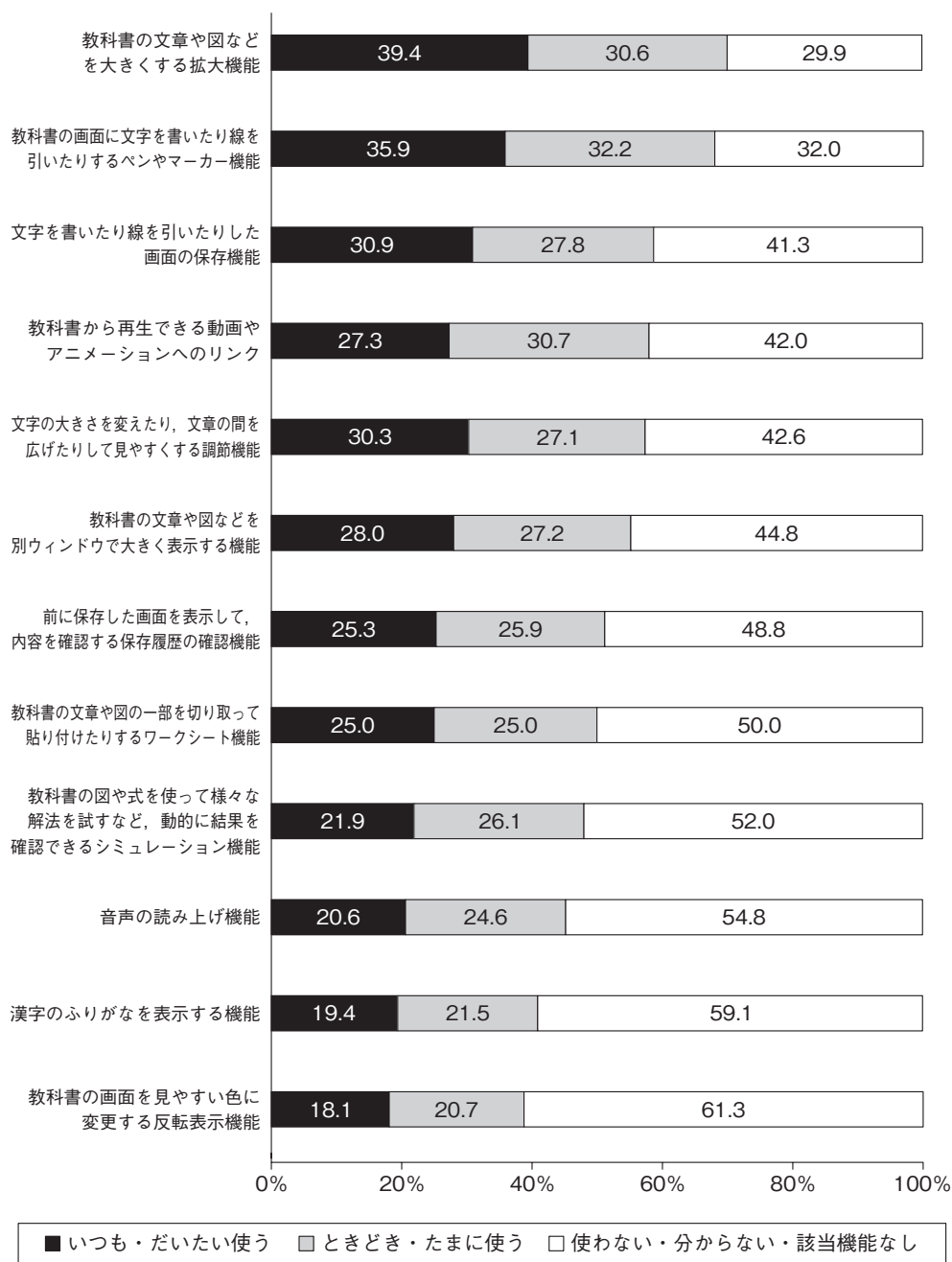


図2 小学生（中高学年）および中学生のデジタル教科書における各機能の使用頻度

（出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書（デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等）」より作成）

注）四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

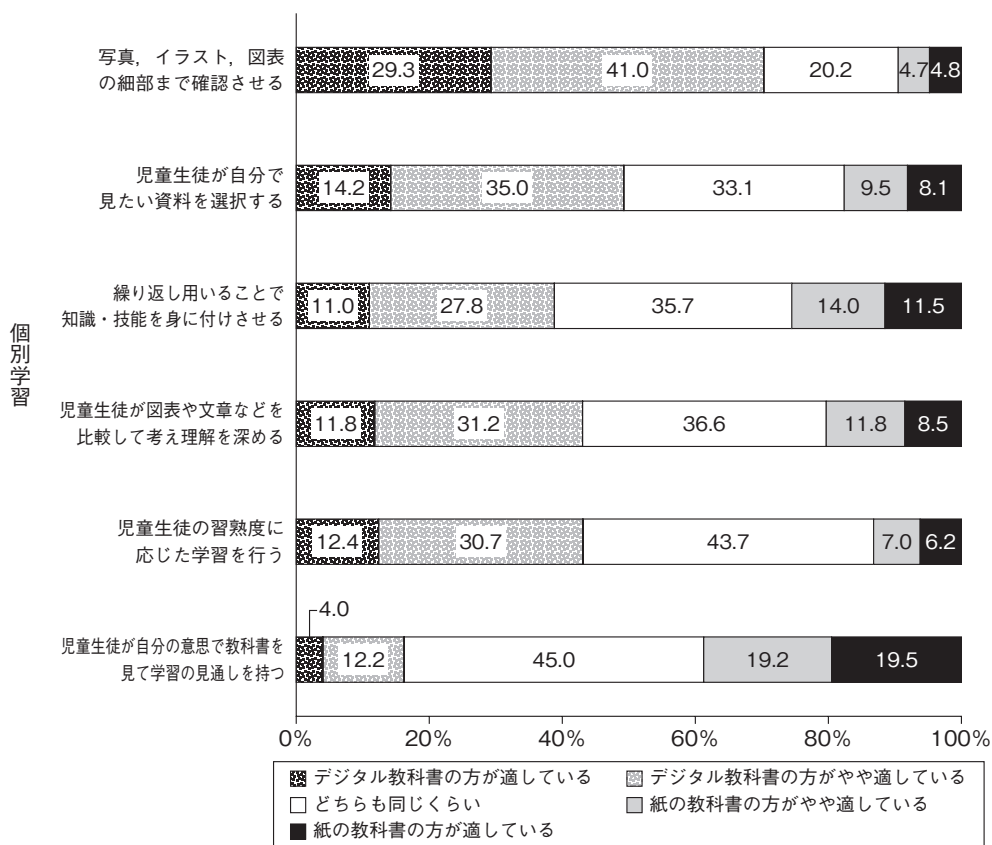


図3 個別学習におけるデジタル教科書および紙の教科書の場面別の使用感

(出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書（デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等）」より作成)

注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

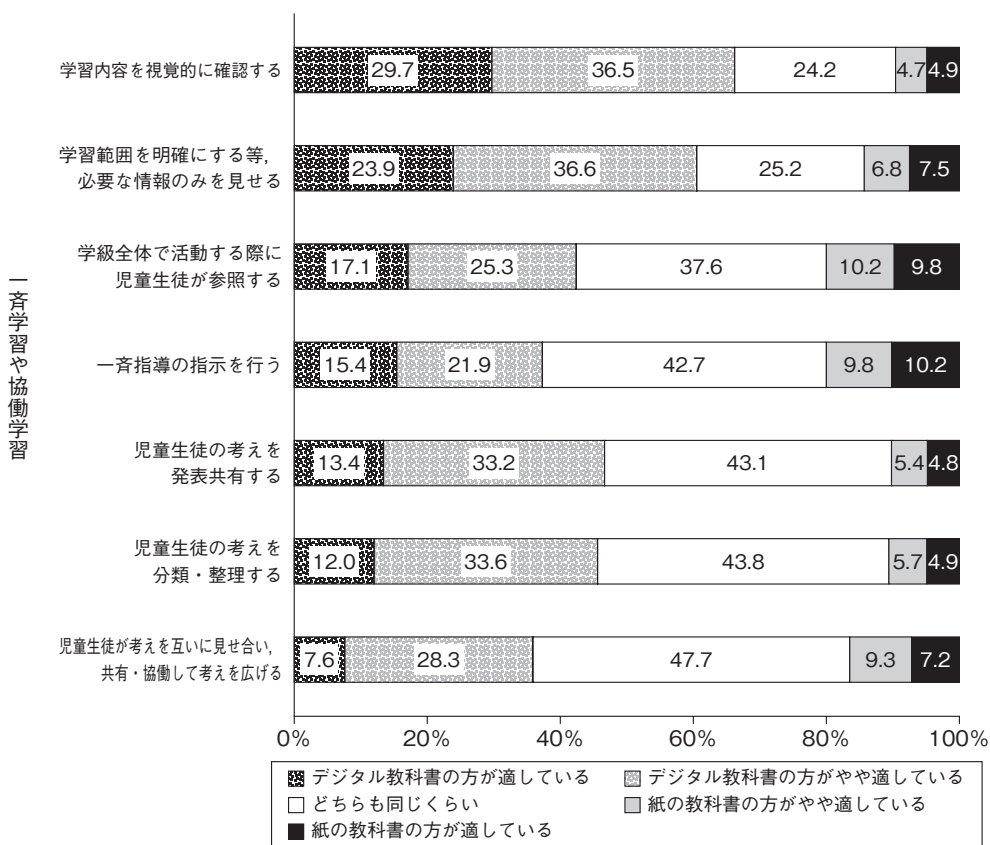


図4 一斉学習や協働学習におけるデジタル教科書および紙の教科書の場面別の使用感

(出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書（デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等）」より作成)

注) 四捨五入の都合上、図中の値を合計しても100にならない場合がある。

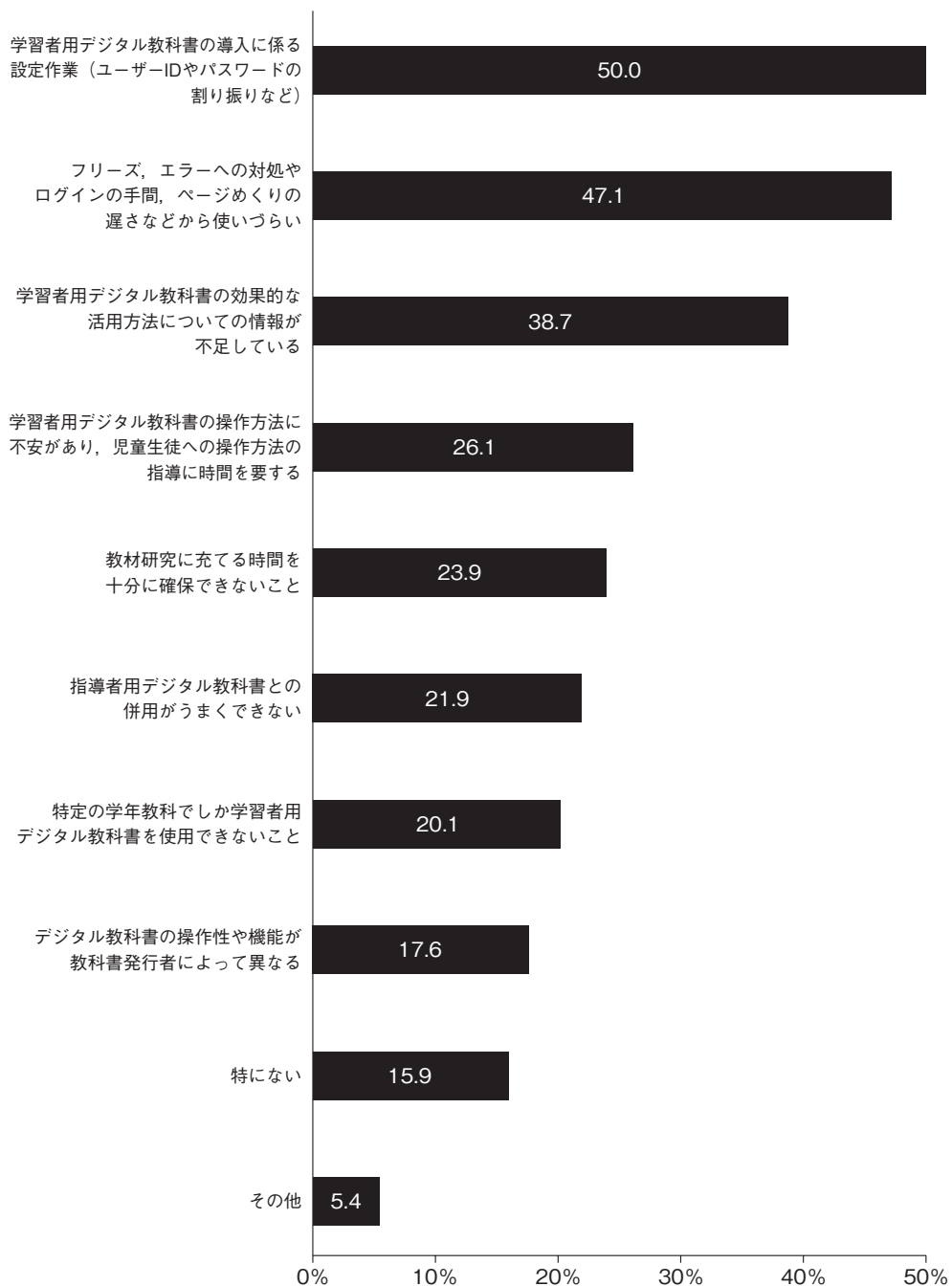


図5 デジタル教科書を使用するに際し教師が感じる課題（複数回答）

（出典：文部科学省「令和6年度 学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 成果報告書（デジタル教科書の効果・影響の把握に資する大規模アンケート調査等）」を一部改変）

問1 図1および図3について述べた以下の文章について、( ) 内にあてはまる数値を答えよ。①は小数第一位までの数で、②は小数第二位を四捨五入し、小数第一位までの数で答えよ。

- ・2024年度にデジタル教科書を「毎授業で使用」すると回答した教師の割合は、2022年度に「毎授業で使用」すると回答した教師の割合よりも( ① ) ポイント高い(ポイントとは割合の差を表す)。
- ・「児童生徒が自分の意思で教科書を見て学習の見通しを持つ」という点について、「紙の教科書の方が適している」あるいは「紙の教科書の方がやや適している」と回答した教師の割合の合計は、「デジタル教科書の方が適している」あるいは「デジタル教科書の方がやや適している」と回答した教師の割合の合計の( ② ) 倍である。

問2 図3および図4をもとに、紙の教科書と比べた場合、教師はデジタル教科書をどのようなときに適していて、どのようなときに適していないと感じるのか、特に後者についてはその理由として考えられることも含めて、200字以内で述べよ。なお必要に応じて、紙の教科書は「紙版」、デジタル教科書は「デジタル版」と表記してもよい。

問3 図1～図5を参考に、今後、小学校および中学校でデジタル教科書の導入を推進するにあたって、どのようなことに留意し、対策を講じるべきだと考えるか、400字以内で述べよ。個人や家庭として、学校や地域として、企業として、政府としてなど、どのような立場での取り組みであっても構わない。なお必要に応じて、紙の教科書は「紙版」、デジタル教科書は「デジタル版」と表記してもよい。

2026年度 公募制推薦入試 小論文試験

( 11 月 15 日 )

問題訂正

1ページ 14行目

(誤) に上限を設ける」というもので, …

(正) に上限を設ける」ことを含むもので, …

2026年度 公募制推薦入試 小論文試験

( 11 月 16 日 )

問題訂正

1ページ 最終行

(誤)て, デジタル教科書を使用するに際に…

(正)て, デジタル教科書を使用する際に…

6ページ 図5タイトル

(誤)図5 デジタル教科書を使用するに際に…

(正)図5 デジタル教科書を使用する際に…